



さんしゅう

教化団だより『さんしゅう』第1号
令和4年6月 佛歡喜日
発行・編集 浄土宗三州教区教化団
事務局 鹿児島組浄光寺
☎ 0995-22-1299

教化団長挨拶 皆で「さんしゅう」しましゅう！



三州教区教化団長
宮崎組 三福寺 田村智彰

この度、三州教区の教化団長に就任しました、
延岡市三福寺副住職の田村智彰です。

これまでの慣例ですと組長経験者や住職の方が就任するはずが、組長経験もない、住職でもない副住職の私がなぜ？との思い満載でしたが、教区の中で年齢も上でも下でもなく中間くらい。また副住職だから住職よりも動けるだろうからやらせておこうとの教区の思惑だろうと。しかしどんな理由であれ就任した限りは何かしらの仕事はしなくては、との思いの1つが、今回のこの教化団だより『さんしゅう』です。

当、三州教区は宮崎県17カ寺、鹿児島県16カ寺、沖縄県9カ寺の三県42カ寺にて活動をしています。隣県の熊本教区88カ寺、大分教区57カ寺など他教区と違い複数県なので広範囲、しかし少数寺院の教区です。教区内寺院のすべてに行ったことのある人は私の知っている限り和尚さんで1人だけかと。そこで行く事が距離的・時間的に難しい教区内の寺院や行事、またお檀家さん等の紹介、更に教区行事の案内や報告等、本山や宗が出す冊子には載る事の少ない身近な記事を掲載出来たらと考えています。もしお寺の住職さんから掲載の依頼のあった時は笑顔で協力していただけだと思います。

コロナ禍で行事等も中止ばかりで集う事が難しかったです。お陰でZOOM(通信での会議、研修等)が出来るようになり、画面越しですが簡単に皆で話し合いが出来るようになりました。

しかしながらこの『さんしゅう』というタイトルは、教区名の三州という意味と、早くコロナが終息し以前のように皆が参集できますようにとの願いを込めてのもです。早く皆で集い、コロナ前の様に戻るのはなく、コロナ前よりもパワーアップして「さんしゅう」できる事を祈念しています。合掌

令和4年3月14日「三州教区檀信徒のつどい」開催



三州教区 浄土宗青年会会長
宮崎組 自然寺 尾関快照

3月14日、延岡市市民文化ホールにて、三州教区では2年ぶりとなる檀信徒研修会「檀信徒のつどい」が開催されました。コロナ禍ということもあり、人数は制限をし、感染対策を行うなど注意をしながらの開催ではありませんでしたが、三州教区各地からご参集いただけたのは、本当に難しい限りでした。

講師には大分教区 教区長の蓮華寺ご住職 鶴山恒教上人において頂き、午前午後の2席、ご法話を頂戴いたしました。お上人とお父上であられる先代ご住職 鶴山瑞教先生とのお話は、私自身も身につまされる思いで拝聴させて頂きました。考えてみれば、個人的なことばかりでなく、コロナ禍に伴う社会の不安定さや人々の心の行き違い、続く災害に戦争：そんな中であつて、見るべきを見えぬふり、聞くべきを聞こえぬふりをして過ごしていないかと、改めて見直す機会を頂戴した様に思います。

私は前期に引き続き、今期も青年会の役を頂戴しておりますが、この様な時だからこそ、青年僧としてどのような活動が行えるか、探って参りたいと思います。

檀信徒代表 酒井梢

檀信徒研修会に初めて参加させていただきました。

最近ではコロナ感染症予防の為に、お寺でも人が集まる行事は中止になっているので、今回布教師の先生のお話を聴く機会をいただき感謝しています。

内容は、仏教の話から、先生のご家族の話まで、とても分かりやすく、自分に照らし合わせて考えることができました。私も1人の母として子を育み、また1人の子どもとして父母を大事にして、これからを過ごしていきたいと思っています。

お話をいただいた、鶴山住職、またご準備いただいた各寺院の皆様、本当にありがとうございました。



浄青会にもお手伝い頂きました



鶴山恒教上人

三州教区寺院紹介 ① 沖繩組 法蔵院友武山樂邦寺

当山第一世宮城親照は31歳の時母親が他界した悲しみのなか、お念仏に救われました。法然上人の教えを伝えたいとの願いから平成元年9月自宅にて樂邦布教所開設いたしました。毎朝勤行終えてNTTへ出勤、法務布教は土日祝日か時には年休で勤め葉書伝道を毎月続け10年目には300通発行するようになっていました。

平成9年3月30日 自宅近く北中城村島袋友武謝原600番1号にて寺院建立地鎮式

平成10年12月7日 浄土宗宗務包括寺院認証

平成11年3月7日10時 開山晋山式を有縁の250名にて本堂庫裏落慶式を併修祝いました。土地本堂庫裏は第一世退職金担保の住宅金融公庫融資によるもので定年まで勤めました。第一世檀信徒のいない状況で本堂庫裏建立には妻宮城綾子（NTT職員）理解が大きく、さらに本堂莊嚴仏具は妻宮城綾子の寄進です。

平成12年3月 長男宮城親誠佛教大学別科卒業

平成14年4月 宮城親誠副住職就任

平成17年3月9日 宗教法人設立完了。

令和3年4月23日 宮城親誠樂邦寺第二世就任



大阪府安養寺檀信徒参拝



左より：宮城親誠上人・親照上人・綾子夫人

『さんしゅう』発行に寄せて



宮崎組 自然寺 岩崎念唯

この度、三州教区教化団より、教化活動の一環として「教化団だより『さんしゅう』」を発行することとなり、第1号として「教化団誌『さんしゅう』に因む法話を!!」との依頼を受けました。

『さんしゅう』は「三州教区」の「三州」と「みんな」で「参集」して活動していこう!! という意味合いを兼ねて、敢えてひらがなで『さんしゅう』と誌名にしたのですが、この三州教区のことについて調べてみたら、意外と知らないことが多々ありましたので、今回は三州教区の歴史、成り立ちについて書かせていただきます。

三州教区という教区名が使われはじめたのは、意外と遅い昭和51年からです。その当時三州教区は、宮崎県と鹿児島県で、旧日向國・薩摩國・大隅國の三つの國（州）から成り立っていることから「三州教区」と名付けられた様です。宮崎組・鹿児島組の2組でした。沖縄県（沖縄組）が三州教区で共に活動しはじめたのは、平成12年4月からで、現在は宮崎組17ヶ寺・鹿児島

島組16ヶ寺・沖縄組9ヶ寺、計42ヶ寺のお寺様が加入して活動されております。

三州教区の前身は、今から約百二十年前の明治35年に「日豊教区」からはじまりました。その後大正13年に「豊後教区」↓昭和13年に「日豊教区」↓昭和19年に「西海教区」（この時宮崎組・鹿児島組・沖縄組でした）↓昭和22年に「宮崎・鹿児島教区」↓昭和34年に再び「西海教区」↓昭和36年に「西海教区」「宮崎教区」「鹿児島教区」となり、数々の変遷を経て、昭和51年に「三州教区」が使われはじめた様です。この時沖縄の袋中寺様は、浄土宗宗務庁直轄の沖縄特別寺院として登録されています。その後平成4年に三州教区直轄寺院となりました。（浄土宗宗務庁総務部資料より）

この様に今まで、数多くの変遷を経て「三州教区」が誕生し、現在に至っております。日本全国どこも、寺院を取り巻く環境厳しいものがありますが、お互いに手を携えて、共に「さんしゅう」して、精進してまいりましょう。

編集後記 この度、教化団だより『さんしゅう』の第1号を発行する運びとなりました。初回ということで手探りの中試行錯誤しながらでしたが、これもひとえに皆さまのご協力のお陰であると感謝しております。（事務局…長岡法秀）